主催：一般社団法人 照明学会　日本のあかり文化調査委員会

日本のあかり文化 シンポジウム

行灯 (あんどん) は、世界最高紙である和紙を用いた傑作灯具 (角行灯) です。

平成24年9月6日（木）
13：00 ～ 16：35
― 入場無料 ―

山口大学・吉田キャンパス
山口市吉田 1677-1　共通教育棟 28 番教室

今こそ日本のあかり文化を生かす “古灯器に学ぶシンポジウム”

13:30　開会　挨拶　染谷彰委員長
13:35 ～ 14:00　総論「素晴らしい日本のあかりについて」　武蔵野美術大学　落合勉
14:00 ～ 14:25　講演「古灯器に親しむ」 照明文化研究会副会長　坪内富士夫
14:25 ～ 14:50　講演「日本古燈器大観に学ぶ」 国立科学博物館理工学研究部　前島正裕
休憩
15:00 ～ 15:25　講演「シルクロードからのあかり」 照明文化研究会　会員　佐々木滋郎
15:25 ～ 15:50　講演「”西洋人の見た灯りの歴史と日本の灯り”
―The story of the lamp (and the candle) の考察―」江戸民具街道　秋澤傑
15:50 ～ 16:30　全体討論　コーディネーター : 大谷義彦・パネラー：海宝幸一・藤原工・他
16:35　閉会

問い合わせ先：照明学会　〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目 8 番 4 号（吹田屋ビル 3 階）
日本のあかり文化調査委員会　幹事宛 045-751-0589（気付）